



2021

NPO法人 北海道を発信する写真家ネットワーク

in:My Time 私の____時間 | SapporoPhoto 2021 公募参加型写真展 作品集 / レポートブック



in:My Time

私の____時間

SapporoPhoto 2021 公募参加型写真展 作品集

SapporoPhoto 2021 レポートブック

思い出の 無為 温かさを逆に貰った お参り 自然に見とれる 記憶をたどる 花 うっとり

無になれる 未来を見つめる 公園散歩 楽しみな 集中力がいちばん高まる よるさんぽ

綺麗なものを見つけた ベランダ菜園 命を育む 花 心に風を通す 見守り うっとり

お散歩 初夏 お写ん歩 空中散歩 43800 考える 知恵と経験は、重積の無駄な 癒される

私の

男の娘 ウォーキング 探索の 一人 怖い孔雀 青い思い出 庭 愛しい おうち

時間

ホッと一息な 静かに行む 癒やしの かけがえのない ポートレート おやつ 公園 癒し

通勤 贅沢 緊急事態宣言終了後のお出かけした 明日を想う 傘の誘惑 秋色 イカ

林道 ひとり散歩 癒し まどろみの ご近所散策 萌える ご近所 懐かしい

2021年一番の興奮 よふかし 癒され サイコーな 秋肥ゆる散歩

写真に写り込んでいるものは、景色だけではありません。

そこにはきっと、時間が写り込んでいます。その写真を撮ったあなたの時間です。

時間の使い方までもが大きく変わったこの一年半。遠くまで行くことはまだ難しくても、

写真を通して、ここではないどこかに触れられる時間を作れるのが、写真です。

写真には、できることがあります。それは、一人ひとりの”私”が見た景色を、場所と時間を超えて伝え、シェアしあうこと。

[SapporoPhoto]は2021年、2年ぶりに実際の展示空間で、皆さんの撮った写真で写真展を開催します。

テーマは、「私の_____時間」。「_____」に入る言葉をタイトルにして、あなたが見た2021年の景色を作品にしてください。

・・・このような私たちの呼びかけに、北海道各地の皆さまから写真をお寄せいただくことができました。

2015年にスタートし、7回目を迎えた札幌発の写真フェスティバル[SapporoPhoto]では、「表現」に加え「記録」という写真の持つ特性に着目し、市民の皆さまと一緒に公募写真展を開催してきました。昭和の町並みとともに写る家族の表情、ある一日の札幌の24時間、平成最後の日と令和最初の日の北海道、生活が大きく変わる中で見た”私のそば”の光景……。

そして今回、「時間」をテーマにしたのは、一人ひとりの自分にとっての時間を見つめることに、この困難な状況の中から少しでも希望のある未来を展望する鍵があると考えたからでした。

66人、66通りの『私の____時間』。あなたの『____時間』と重ねながら、楽しみください。

■この冊子には、本展にご応募いただいた66名の皆さま全点の作品を掲載しております。■作品は撮影日順に掲載し、各ページ上に日付、撮影地、撮影者名(敬称略)を記載しております。また、添えていただいたコメントを原則として原文のまま作品横に掲載しております。■撮影地の名称はご応募時の入力内容に従っていますが、同一の場所で撮影された作品など、表記を揃えさせていただいたものもございます。

私の

思い出の

時間



夏は海水浴、冬は荒れる海を眺めてた
遠い昔の思い出、恵比須島。

撮影地：小樽市張碓町

撮影日：2021/01/02

撮影者：田中忍 (50代/会社員)

自然のあるがままの姿を、写すことが出来たら
どんなに素晴らしいことだろう…



撮影地：空知郡上砂川町
撮影日：2021/01/03
撮影者：よしだとしなり (50代)

私の

無為

時間



成人式が中止に
そんな成人の為に記念となる非日常をプレゼントしたい
という想いの賛同者の一人として撮影を担当
新成人に「今年は本当に辛かった…でも今日は本当に良い
思い出になりました」と涙ぐんで言われた時は目頭が熱
くなりました…
「こちらこそありがとう」

私の

温かさを逆に貰った

時間

撮影地：札幌市南区

撮影日：2021/01/17

撮影者：norio yamagishi (50代)

札幌滝野霊園のモアイたちが「コロナウイルスに負けないぞ」と胸を張ってるように見えました。



撮影地：札幌市南区
撮影日：2021/01/25
撮影者：るっく（60代）

私の

お参り

時間



真冬の天津海岸に出現するジュエリーアイス（氷の寶石）。

氷塊に魅せられて今年で14年。時に -20°C になることもあるが、夜明け前の暗い浜で日の出を待つ。

日が昇ると寒さは吹き飛び、夢中でシャッターを切り時間を忘れる。

私の

自然に見とれる

時間

撮影地：豊頃町

撮影日：2021/01/28

撮影者：岸本日出雄（70代／株式会社札幌コマースシャルフォト代表）

はじめまして。

今回はじめて参加させていただきます、土師です。北海道の冬の写真を1枚選ばせていただきました。

北海道の厳寒さが観る人の皮膚感覚にまで伝わるような――そしてそれが幻想性を感じさせる――写真に後から振り返るとなつたと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。



撮影地：札幌市南区

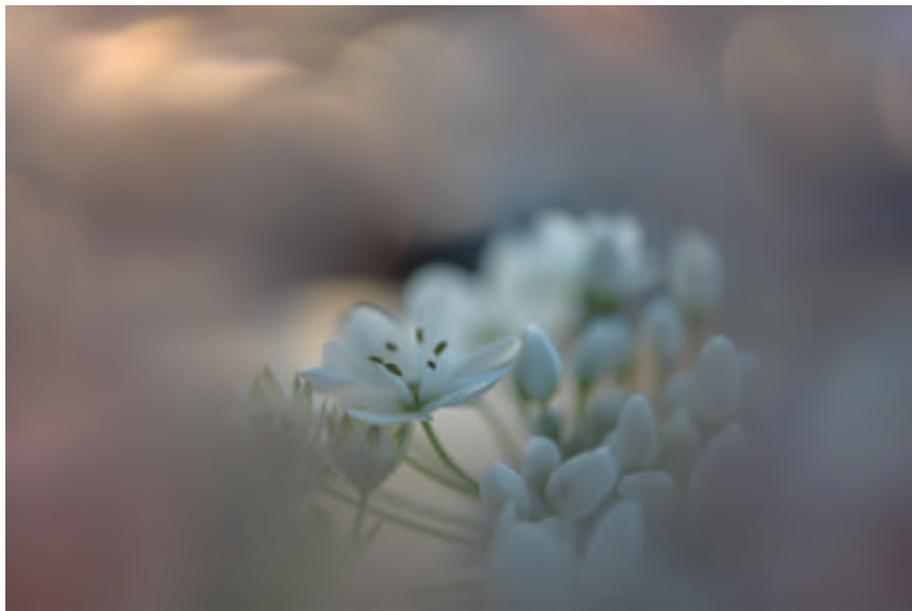
撮影日：2021/01/30

撮影者：土師 一樹 (30代)

私の

記憶をたどる

時間



冬場の憂鬱な気持ちを吹き飛ばす為に購入した切花
自作フィルターを使って撮影してみました
雪の中に浮かぶ花のように…

私の **花** 時間

撮影地：千歳市 自宅
撮影日：2021/02/08
撮影者：伊藤ゆかり (50代)

私の

リエゾン

時間

趣味で自動車競技であるラリーのコードライバーを務めています。
早朝というよりは深夜に近い時間に起床、一日で最も寒い時間に活動を開始することもしばしば。冬はとくに苦痛でしかない…
はずなのですが、競技前、青空の下で陽射しをたっぷり浴びる時間は、そんなことすら忘れさせてくれます



撮影地：千歳市(新千歳モーターランド)

撮影日：2021/02/28

撮影者：Isao Kono (50代／Rally Co-driver)

私の

無になれる

時間



釣りをしている時間、それは私にとって日常の喧騒を離れ、魚と、そして何より自分と向き合う孤高の時間。

撮影地：中川郡幕別町

撮影日：2021/03/31

撮影者：辻 博希 (50代／自営業・会社役員)

ステイ・ホームの夜明けに / At the dawn of stay home



撮影地：札幌市中央区 札幌PARCO

撮影日：2021/04/23

撮影者：SHIN (30代)

私の

未来を見つめる

時間



私の **公園散歩** 時間

まだマスクもできないし感染対策はしたいが、季節の変化を感じることなく育つことも避けたい。
簡単にいける市内の公園、目で耳で鼻で肌で自然にふれる大切な経験。
来年こそは賑やかな「花見」も体験させてあげられるといいな。

撮影地：札幌市豊平公園

撮影日：2021/04/26

撮影者：中村健太（40代／写真家）

帰省できた時に妹と愛犬と散歩をするのがお決まり。
なかなか帰省することができない今、この時間がとても待ち遠しいです。

みなさんの楽しみなことが躊躇うことなくできる日を願って。

撮影地：河東郡音更町
撮影日：2021/05/01
撮影者：菜菜（20代）



私の

楽しみな

時間



道南は白尻の海中、生まれて間もない体長1cm足らずのゴッコ（ホテイウオ）の幼魚が、アオサの上にちょこんと乗っかっている愛くるしい姿です。水中で極小の被写体と向き合っている時の、集中力の高まりが好きです。この姿を見てしまうと、もはやゴッコ汁を食べられなくなってしまいますよ。

私の

集中力がいちばん高まる

時間

撮影地：函館市白尻

撮影日：2021/05/02

撮影者：平本健太 (50代/大学教員)

電波塔の下で

撮影地：大通公園
撮影日：2021/05/04
撮影者：城 禾乃 (40代)



私の

よるさんぽ

時間

私の

綺麗なものを見つけた

時間



花と華。
心を癒してくれた景色と、満ち足りたひととき。

撮影地：余市川
撮影日：2021/05/07
撮影者：末永誠一

(50代／ワインとカレーが好きなアマチュアフォトグラファー)

昨年に引き続き、ベランダ菜園に挑戦、結果は…。

撮影地：虻田郡倶知安町

撮影日：2021/05/16

撮影者：関根進 (50代／地方公務員(単身赴任中))



私の

ベランダ菜園

時間



生まれたてのひよこたち
ここですくすく育つんだよ
自由歩行の平飼いはストレスが無く免疫が上がる
結果として生涯薬に頼ることなく元気に過ごす

私の **命を育む** 時間

撮影地：長沼町 卵ラン農場ムラタ
撮影日：2021/05/17
撮影者：中野大作戦（50代／自分業）

私の

花

時間

いつも同じ季節にそこに来てくれる。
今年もまた会えたね。

撮影地：札幌市南区
撮影日：2021/06/02
撮影者：きたやみゆき（60代）





バイクでそんなに遠くないどこかへ行くことが、この2年、
これまでも増して楽しく感じられるようになった。
少し走るだけで、心にも風を通すことができる。そういう
時間が自分にくれるものは想像以上に豊かだ。
もっと遠くに行きたいという思いが募る。
そう遠くないいつかに向けて、計画を練る。

私の

心に風を通す

時間

撮影地：小樽市朝里

撮影日：2021/06/02

撮影者：ウリュウ ユウキ (40代／写真作家)

コロナ禍の中、外出の機会が減り、趣味のカメラ撮影に出かける機会もなく、ベランダから見た景色の中で、カモメの抱卵の姿を発見しました。

雄雌が交代で抱卵してから1か月後、ついにヒナの姿を発見しました。無事に巣立つ日を見守りながら毎日撮影しました。無事に飛び立ったのは1羽でした。



撮影地：札幌市中央区（我が家のベランダ）

撮影日：2021/06/17

撮影者：金山 陽子（70代）

私の

見守り

時間



札幌の街並みに沈んでいく夕陽を見ていると、うっとりして時間を忘れてしまいます。

この日は夏至。これから1年で一番長い夜が始まります。冬至に向けて徐々に日が短くなりますが、季節の移り変わりを楽しみながら夕陽を眺めたいと思います。

私の うっとり 時間

撮影地：札幌市白石区

撮影日：2021/06/21

撮影者：松田聡（50代／公務員）

今年も大通公園11丁目の美しく咲き誇る薔薇を見ることが出来てとても幸せでした。

ちょこんと銅像の頭に止まったり、薔薇の間を飛び回ったり、銅像の足元の水場で水浴びをする雀たちが可愛らしくてとても癒されました。



撮影地：札幌市大通公園11丁目
撮影日：2021/06/23
撮影者：Yoshie Taniguchi (50代)

私の

お散歩

時間



今年も自粛ムードの中、初夏を彩る地域のイベントは中止が相次ぎ、神社例大祭も関係者が集い、神事のみが執り行われていた。

「次の年こそ、声高らかに神輿の担ぎ手達に声援を送ることができますように・・・。」と神頼みをいたしました。

私の **初夏** 時間

撮影地：小樽市

撮影日：2021/06/26

撮影者：Photospace (60代/自営業)

私の

お写ん歩

時間

小樽はとっても素敵な所です
カメラを抱えて歩くとワクワクする街ですね
久しぶりに行った小樽天狗山のシマリス公園で癒されました
シマリスを間近に触れ合える素晴らしい施設です。
シマリスの後ろ姿はコロンとして、とっても可愛い背中でした

撮影地：小樽天狗山シマリス公園
撮影日：2021/07/02
撮影者：塚野良江（40代／販売業）





日本の空からまもなく退役する北海道エアシステム所属のSAAB 340B-WTを用いた遊覧チャーターフライトが開催された。

非常事態宣言の影響を受け、幾度かの延期(中止)があったが、この日、雲は多少あったものの、好天に恵まれた中で無事に開催されてひとときの「旅」を楽しむことができた。

私の **空中散歩** 時間

撮影地：北海道内上空

撮影日：2021/07/03

撮影者：長谷川規夫(40代/写真家・団体職員)

苗植えから5年。小樽の自然と人が多大な時間をかけて幸せのワインが実りました。
澄んだ空、爽やかな海風、住む生きものたち、全てに感謝です。



撮影地：小樽市塩谷
撮影日：2021/07/09
撮影者：長 直樹 (40代/ワインメーカー)

私の

43800

時間



私の **考える** 時間

殺風景な自室に少しでも彩りを添えようと、毎週末に花屋で気に入った花を購入する。
花に興味は無かったが、よく見ると同じ種類の花でもそれぞれに個性が有り、面白い。
気が向くと花を撮影する。
すると、いつの間にか『この花の美をどう撮ろうか?』と考えている自分に気付く。
私の考える時間。

撮影地：札幌市西区
撮影日：2021/07/10
撮影者：田村博徳（40代）

MODEL : momoka

この撮影の2ヶ月後

ステージ場当たり中に転落事故に遭い

重傷を負って入院中です

一日も早く傷が癒え

復帰されることを祈り

リハビリ治療中の桃加さんに捧げます



撮影地：石狩浜海水浴場付近

撮影日：2021/07/17

撮影者：f.siz photography (60代/freelancer)

私の

知恵と経験は、重積の無駄な

時間



日本中が新型コロナの影響で自粛を余儀なくされています。

函館市の中心地、函館駅前も人の姿がなく寂しい限りですが、コロナに負けず今年も美しく咲いてくれた花壇の花々を見ると、ホッと癒されている自分がそこにいました。自然の力はすごいですね！

私の **癒される** 時間

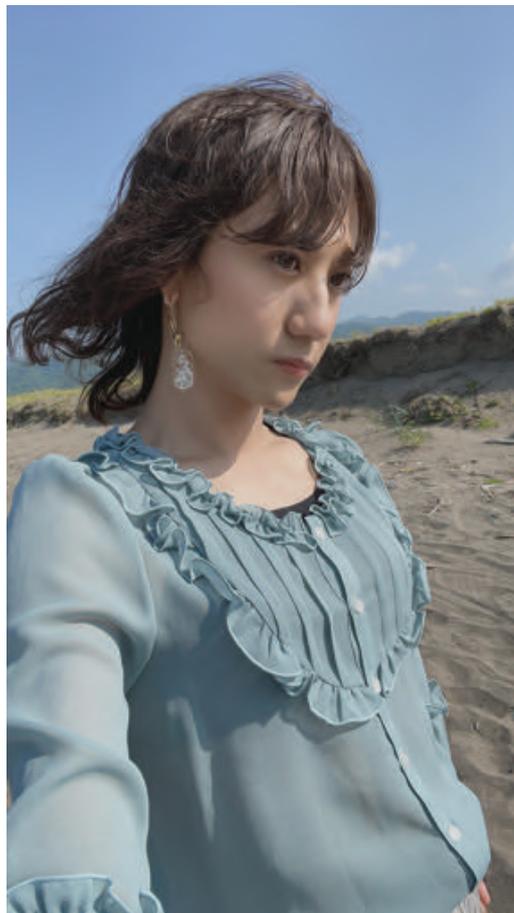
撮影地：函館市若松町

撮影日：2021/07/23

撮影者：丸山達也 (60代／写真家)

性別は男性ですが、ずっと女性の可愛らしさ美しさに憧れていました。
銭函の広い海でただ1人、心も身体も、すごく気持ちよく舞うことができました。

撮影地：小樽市銭函
撮影日：2021/07/23
撮影者：れおとん (30代)



私の

男の娘

時間

私の

ウォーキング

時間



毎朝、5時に起きてウォーキングに取り組んでいます。
朝の空気を吸って、気持ちを整えてから仕事に向かってます。
コロナ禍ですが、朝のウォーキング時に出逢う方との挨拶大切にしています♪
写真は、空を見上げた時に翼を広げている様に見えたので写真に撮りました！

撮影地：札幌市西区

撮影日：2021/07/28

撮影者：せきちゃん (30代/管理職)

何か撮影できないだろうか?と探索中に水鏡活かせない
だろうかと思い撮影しました。

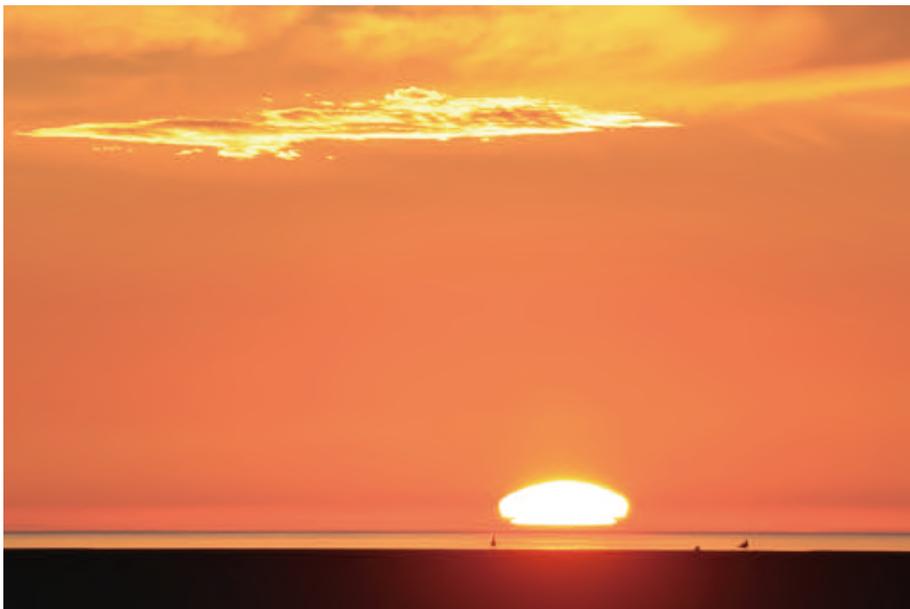


撮影地: 赤レンガ庁舎
撮影日: 2021/07/29
撮影者: カモ (40代/会社員)

私の

探索の

時間



ウトロの海に沈む夕陽です
撮影を終え ぼ〜と海を眺めていたら
こんな素敵な太陽が沈んでいきました
とても幸せなひと時でした

私の 一人 時間

撮影地：ウトロ

撮影日：2021/07/31

撮影者：嶋田 浩江 (60代/主婦)

流木が恐ろしい孔雀に見えました。



撮影地：石狩市渡船場近く
撮影日：2021/08/09
撮影者：朝日美幸（70代）

私の

怖い孔雀

時間



私の **青い思い出** 時間

以前、住んでいた家の庭に毎年アジサイが咲いていました。

他の花の手入れは一生懸命でしたが、アジサイはほとんどかまう事なく、それでも毎年、大輪の姿を見せてくれました。

この公園を散歩している時、突然「私ここでも咲いていますよ」と同じ色のアジサイが声をかけてきました。

撮影地：札幌市豊平区豊平公園

撮影日：2021/08/11

撮影者：和田 真弓 (60代)

私の

庭

時間

天に向かって庭で育つホップを収穫してリースをつくるのが夏の定番。

触れるたびに爽やかな香りが広がって優しい気持ちになれる大切な私の庭時間。

撮影地：札幌市南区

撮影日：2021/08/22

撮影者：karino herb (50代/自営業)



私の

愛しい

時間



展示を観てくださった方に、北海道の海鮮食べたくなった～、今日食べよう!って思ってもらえるような写真を選びたく思い、この写真を選びました

撮影地：札幌市中央区 TAKU円山

撮影日：2021/08/24

撮影者：猪股聡子 (40代/モデル)

緊急事態宣言下の8月に自宅で刺繍に励んでいました。
なれない手作業に時々指を刺して、一休み、、、
猫が遠くから見守っています。



撮影地：自宅
撮影日：2021/08/25
撮影者：はる（50代／会社員）

私の **おうち** 時間



1年半の間、大半がリモートワークで、家に閉じこもるばかり。
唯一のホッと一息つけるのが、庭に植えたお花たちを眺め、時には写真に収める、そんな時間。

私の **ホッと一息な** 時間

撮影地：札幌市厚別区
撮影日：2021/08/31
撮影者：のご（50代／会社員）

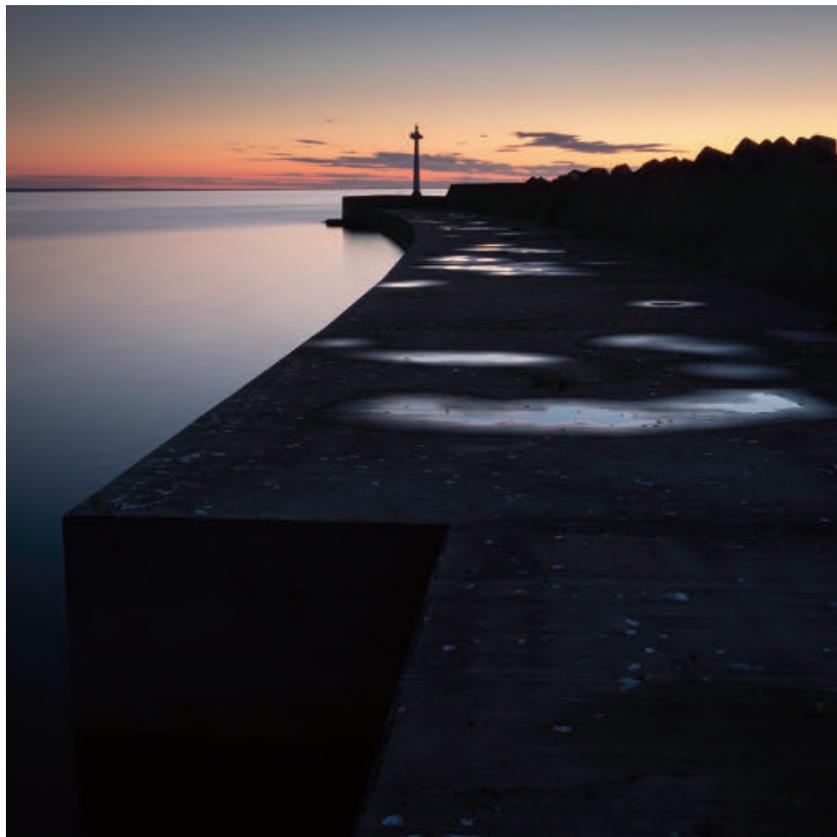
私の

静かに佇む

時間

誰もいない最果ての港でひとり静かに佇みながら、日が暮れていく時の流れとともに過ごす時間。
こんなにも近くに、美しい風景が広がっていることに感謝します。

撮影地：根室市 根室港
撮影日：2021/09/01
撮影者：Coju Hemmi (50代)



私の

癒やしの

時間



豊平に越してきて、近くにエゾリスが生活していることを知った。最近ではシカも散歩しているらしい。こんな自然を皆さんで大事にしていきたい。

撮影地：札幌市豊平区豊平公園

撮影日：2021/09/01

撮影者：和田 育男（60代）

子供たちと一緒に過ごせるのは一体どれくらいあるのだろう。そして、親との生活でどのような人生の基盤を作っていくのだろう。

子供たちの日々の成長や言葉の発達を見て、親の影響は計り知れないと日々感じる。だからこそ、その記録を写真で残しておきたいと思うのではないか。親子お互いの記録として。



撮影地:上川郡東川町

撮影日:2021/09/07

撮影者:大塚友記憲 (40代/photographer)

私の

かけがえのない

時間



いつものメンバーで気兼ねなくお互いい写真のために
カメラに向き合ってる事が 唯一リラックスできるポート
レート時間です。

私の **ポートレート** 時間

撮影地：帯広市 真鍋庭園

撮影日：2021/09/11

撮影者：田村 信貴 (40代/会社員)

淡路島から、遙々北海道へ届いたフレッシュいちじく。ほんのり甘く、スッとスプーンが入ります。贅沢な大人のおやつ時間を楽しみました。「ふるさと納税」教えてくれた友達に感謝。



撮影地：自宅(恵庭市)
撮影日：2021/09/12
撮影者：東 悦子 (50代/日本の果物好き)

私の **おやつ** 時間

私の

公園

時間



息子とよく行く公園で撮影しました。
歩けるようになり、公園遊びがより楽しくなったようです。

撮影地：沙流郡日高町
撮影日：2021/09/17
撮影者：もりとん (30代)

コロナ禍で疫病退散の願いを込めて、通った神社で。
昨年から今年にかけて、札幌市内各神社では花手水も拝見することができ、密になることもなく、神社巡りが唯一の癒しの時間でした。



撮影地：札幌市厚別区
撮影日：2021/09/19
撮影者：渡辺可緒理 (40代)

私の **癒し** 時間



朝 通勤途中 深い霧が出ていた

私の **通勤** 時間

撮影地：札幌市白石区
撮影日：2021/09/23
撮影者：太田光弘 (30代)

夕陽を見るために散歩に出ました。
なんでもないフェンスが夕陽に照らされて、キラキラと輝いていました。
1日の終わりに、綺麗な光を独り占めした贅沢な時間でした。



撮影地：札幌市白石区
撮影日：2021/09/24
撮影者：久保田幸子（40代）

私の **贅沢** 時間



サイクリング中に急に目の前に現れた広々とした空間が清々しく新鮮でした。

私の

緊急事態宣言終了後のお出かけした

時間

撮影地：札幌市豊平区
撮影日：2021/10/03
撮影者：sugiyama (50代)

海風に吹かれながら
今日を想い明日を想う
静かな独りの時間



撮影地：小樽市築港
撮影日：2021/10/03
撮影者：明 栄子（50代／会社員）

私の

明日を想う

時間



赤い傘に魅せられてゆっくりと歩きました。

私の

傘の誘惑

時間

【 54 】

撮影地：札幌市中央区北3条広場

撮影日：2021/10/08

撮影者：朝日 均（70代）

自宅の庭で見つけた秋色。



撮影地：札幌市清田区
撮影日：2021/10/09
撮影者：浅野久男（50代）

私の **秋色** 時間



季節柄、苫小牧漁港にもイカ漁船が集結していました。
でも、なかなか高価で食べられないので、せめて漁船を
写しながら、朝イカの刺身を想像していました。

私の **イカ** 時間

撮影地：苫小牧漁港

撮影日：2021/10/09

撮影者：でんぼう（50代／会社員）

10月半ば、久しぶりわが町の林道を車で走る。
平地の紅葉は、既に最盛期を過ぎていた。
突然、見慣れぬ光景に出会う。
ミツバチの巣箱だ。
養蜂屋さんの姿はない。
こんな時期、まだ、どこかに花があるのだろうか。
それが不思議でならなかった。



撮影地：下川町上名寄
撮影日：2021/10/10
撮影者：Purple (80代以上)

私の **林道** 時間



よく晴れた秋の午後、散歩に行った知事公館で撮りました。

小さな川があり、渡ろうとふと足元を見ると、川面に青空が映り、落ち葉が次から次へと流れてきました。季節の移ろいを感じた瞬間です。

私の

ひとり散歩

時間

撮影地：札幌市中央区 北海道知事公館

撮影日：2021/10/12

撮影者：まめこ（50代）

私の

癒し

時間

こんな場所、自宅付近なわけないでしょ?と疑われるかもしれません。
しかし、自宅付近であり、私のいつもの散歩道なのです。
ここ滝上町は、町からすぐ渓谷を拝める町。この洛陽の滝では天気が良ければ
この様に虹も見ることができます。丁度、紅葉も綺麗でした。

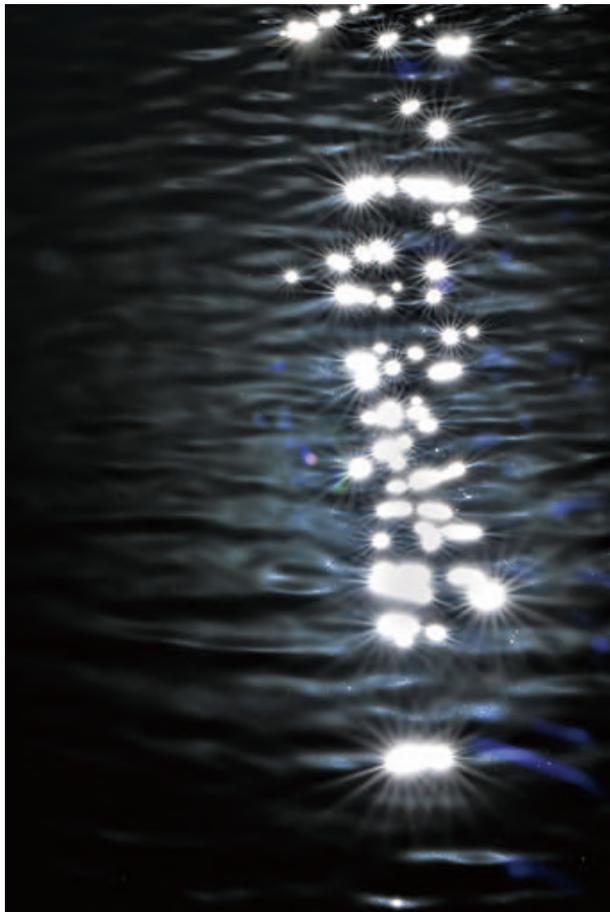
撮影地：紋別郡滝上町
撮影日：2021/10/12
撮影者：清水麻衣（20代）



私の

まどろみの

時間



久しぶりに風景写真を撮ろうと外出。川岸に寝転んで思案していたら、いつの間にかうとうととしてしまいました。目覚めた後、水面(みなも)に反射する陽光が眩しく幻想的だったので思わずシャッターを切りました。

撮影地：札幌市北区茨戸川

撮影日：2021/10/13

撮影者：高橋幹夫 (60代/隠居中)

函館本線、明治35年に開業した無人駅。

かつては海水浴時期に臨時快速「らんしま号」が運行される賑わいを見せた。当時、近くのセブンイレブン蘭島店は、海水浴客によって売上日本一を記録したことが話題になった。

北海道新幹線開業後、この可愛い無人駅の存在はどのようなのだろう…



撮影地：小樽市蘭島

撮影日：2021/10/16

撮影者：千葉一仁（60代）

私の

ご近所散策

時間



大好きな愛車を紅葉バックに眺めるのが萌えます。

私の **萌える** 時間

撮影地：苫小牧市ウトナイ湖駐車場

撮影日：2021/10/19

撮影者：yah (50代)

出勤前にご近所をぶらぶら。そこはかたなく。



撮影地：夕張郡長沼町
撮影日：2021/10/20
撮影者：佐藤哲也（50代／地方公務員）

私の **ご近所** 時間



先日、先輩と会った。
先輩の笑顔は昔のままだった。
とても優しく温かい笑顔。
懐かしくてうれしかった。

私の **懐かしい** 時間

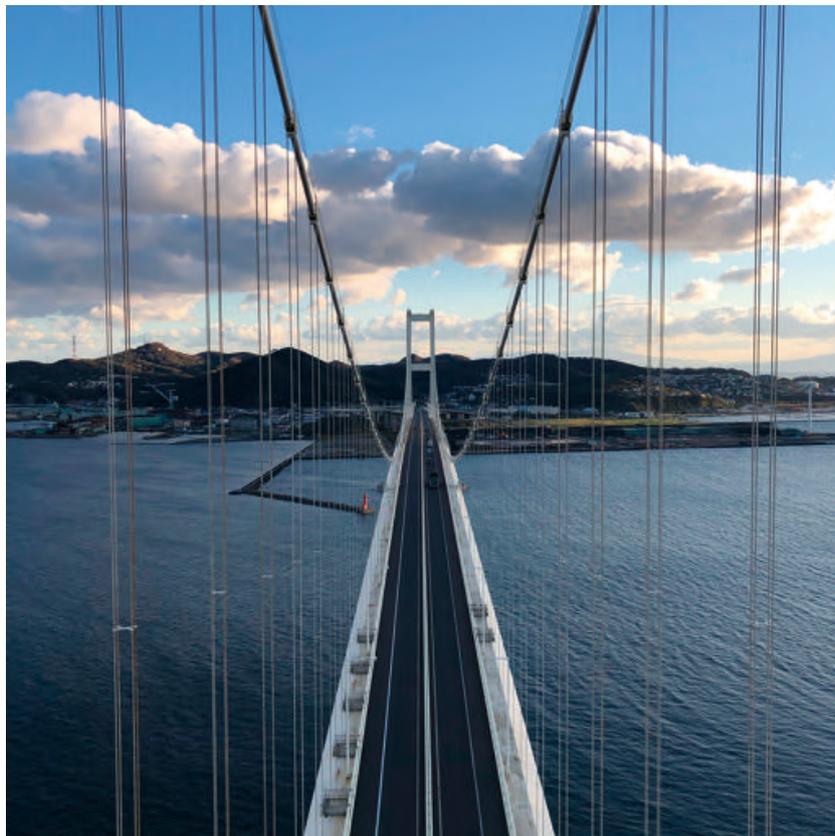
撮影地：札幌市中央区
撮影日：2021/10/21
撮影者：三上 和仁（50代）

私の

2021年一番の興奮

時間

室蘭のモニターツアーで白鳥大橋の主塔に登りました。
主塔に行くまでの、室蘭港のクルーズにも興奮しましたが、主塔からの眺めは格別！
大好きな友人たちとめっちゃはしゃいだ2021年の一番の思い出でもあります。



撮影地：室蘭の白鳥大橋
撮影日：2021/10/23
撮影者：山谷智恵子（40代）



時間を忘れて勉強や課題に取り組んで、ふと窓を見ると外が明るくなっていました。
朝の空気を吸うために外に散歩に出ると、紅葉した木々が並んでいて、季節の移ろいを感じました。

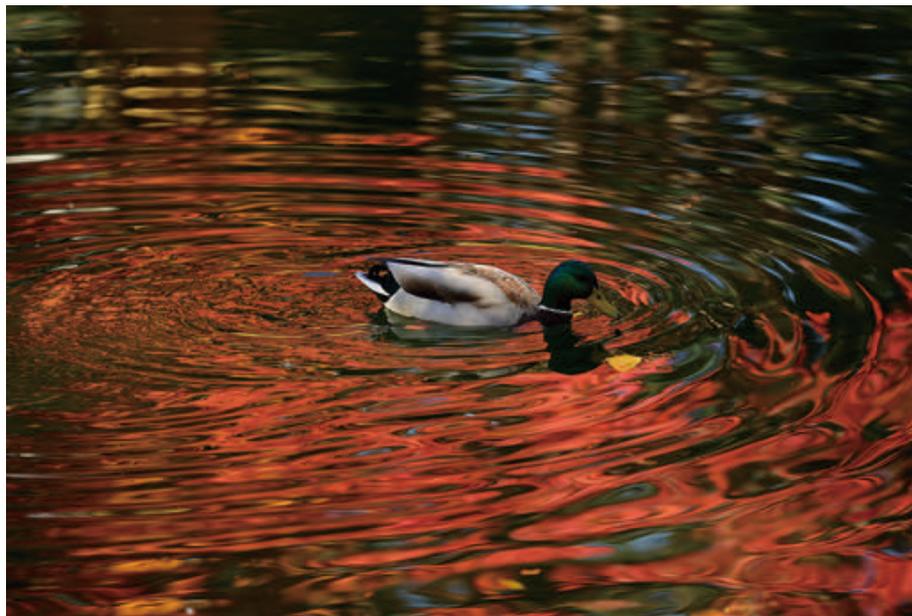
私の **よふかし** 時間

撮影地：江別市文京台

撮影日：2021/10/25

撮影者：澤田望乃 (20代/大学院生)

遠出するのが難しい時期なので歩いて行ける公園へ。
近場の公園、いつものカメラで見つけた格好良いシーン。
撮影の瞬間と、部屋に戻り見直してる時が私の癒され時間です。



撮影地：札幌市中央区中島公園
撮影日：2021/10/31
撮影者：阿部清太郎 (30代/会社員)

私の **癒され** 時間



空き家を6m×6mの巨大イルミネーションに!
人を元気に笑顔にしたくて、仲間と話し合い、ライトアップ
しました!

私の **サイコーな** 時間

撮影地: 岡坂ビルヂング(豊平区平岸1条2丁目)

撮影日: 2021/10/31

撮影者: 大人会 (30代/仲間大歓迎中)

秋になり食事が美味しい季節、コロナの影響で運動不足もあり、
ちょっと紅葉見ながらウォーキング。

撮影地：札幌市中央区 中島公園

撮影日：2021/11/01

撮影者：佐々木 敏雅 (30代)



私の

秋肥ゆる散歩

時間

「コロナの年」の写真たち

2021年は、コロナで明けコロナで暮れたという印象が強い。ただ、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況も、2年余り続くと、逆にやや日常化しつつあるようにも思える。2020年の最初の緊急事態宣言発令時には休止していた美術館やギャラリーでの展覧会も、2度目、3度目と繰り返されると、開催を続けるところが多くなった。写真家たちの行動範囲も、海外渡航を別にすれば、以前と変わりなくなってきた人が多いのではないだろうか。

とはいえ、コロナ以前とコロナ以降で、大きく変わってしまったことも少なくない。個人的に大きなショックだったのは、1950年以来、70年以上続いてきた写真雑誌『日本カメラ』が、2021年5月号で休刊してしまったことだった。2020年7月号で休刊した『アサヒカメラ』とともに、老舗の写真雑誌がまた一つ消え、日本の写真状況を総合的にフォローする定期刊行物がほぼなくなってしまった。幸いなことに元『日本カメラ』副編集長の村上仁一さんを編集長として『写真Sha-Shin』（ふげん社）が2022年1月に創刊された。年2回発行予定のこの「新雑誌」には、大いに期待したい。横田大輔をメインに「東京」特集を組んだ創刊号の出来栄えもなかなかよかった。

写真展や写真集のポルテージも、決して落ちていない。澤田知子「狐の嫁入り」（東京都写真美術館）、松江泰治「マキエタCC」（同）、石内都「見える見えない、写真のゆくえ」（西宮市大谷記念美術館）、鷹野隆大「毎日写真 1999-2021」（国立国際美術館）など、印象深い展示も多かった。「ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画」（福岡市美術館）、「唐武と芸術写真の時代」（岩手県立美術館）、「『写真の都』物語—名古屋の写真運動史:1911—1972」（名古屋市美術館）「和歌山の近現代美術の精華 第2部 島村逢紅と日本の近代写真」（和歌山県立近代美術館）など、日本写真史の見直しの成果も着実にあらわれてきている。

写真ギャラリーの活動もむしろ活性化している。特に目立ったのは、2020年に築地から目黒に移転してきたコミュニケーションギャラリーふげん社で、今井壽恵、大西みつぐ、藤岡亜弥、田凱、王露、蔵真墨らの意欲的な作品展が開催された。また、ふげん社写真賞の公募も開始され、木原千裕が第1回受賞者に選出されている。

写真集出版も充実していた。Ryu Ika『The Second Seeing』（赤々舎）、石川竜一『いのちのうちがわ』（同）、岸幸太『傷、見た目』

飯沢耕太郎 (写真評論家)

(写真公園林)、笹岡啓子『Remembrance: Sanriku, Fukushima 2011-2014』(同)、福島あつし『ぼくは独り暮らしの老人の家に弁当を運ぶ』(青幻社)などが目についた。1950年代のリアリズム写真運動の一翼を担った、青森市の工藤正市の写真は、遺族がInstagramにアップしたのをきっかけに注目され、写真集『青森 1950-1962』(みすず書房)の刊行に結びついた。ただ、コロナ禍の状況に正面から向き合った写真集となると、初沢亜利『東京二〇二〇、二〇二一。』(徳間書店)くらいしか思いつかない。終わりの見えない新型コロナウイルス感染症を、どう捉えて写真化していくかは、まだこれから先の課題といえるのではないだろうか。

最後にSapporoPhoto2021の公募写真展「In My Time 私の___時間」に寄せられた作品に触れておこう。まずは、2年ぶりにリアルな展示が実現して本当によかった。全体的にいえるのは、身の回りの事象を細やかに観察して撮影した作品が多いことで、コロナ禍の状況での日常性の見直しがそこにもあらわれていると思う。「癒し」「公園散歩」「ご近所」「おうち」「見守り」「ウォーキング」などのタイトルが目につくのもそのためだろう。気になった写真:辻博希さん、関根

進さん、塚野良江さん、せきちゃん、猪俣聡子さん、はるさん、もりとんさん、まめこさん、清水麻衣さんetc.。もちろんSapporoPhotoのメンバーも含めて、他の方たちの作品にも見応えのあるものがたくさんあった。



Report of
SapporoPhoto 2021





2年振りの["リアル"SapporoPhoto]

[SapporoPhoto]は2015年の開始以来例年秋に札幌市内の会場での展示を中心に開催してきたが、この2年余り全世界を覆う新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響を考慮し、2020年は公募写真展『@MyPlace いま、私のそばで』のオンライン/冊子による展示と、70~71ページに評論をお寄せ頂いた飯沢耕太郎さんの講演映像の配信を行った。

今回・2021年は、十分な感染抑止対策をとった上で、2018年の会場となった札幌文化芸術交流センター SCARTS(スカーツ)にて2年振りの“リアル”展示を開催することができた。

初の試みとして、公募写真展『in:My Time 私の____時間』の応募作品を大判(A0サイズ)の写真用紙を用いたプリントにレイアウトし、2020年の応募作品とともにご覧いただいた。

また北海道根室振興局との連携企画として、“THE NORTH FINDER”写真家会員の中西敏貴氏の撮影した知床・根室エリアの多彩で多様な「絶景」を捉えた作品を展示した。

例年よりも小さな規模ではあったが、今できる形での展示を実現できた経験を活かし、これからにつなげていきたい。

新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックが世界を覆ってから3年目の春が巡り来ようとしています。

まだまだ日々の生活のさまざまな場面には制限がありますが、そんな中で見た／感じた日常の出来事、ステイ・アット・ホームの我が家の中から見えたもの、ご近所や少し遠くへ出かけた時の景色、誰かと過ごした時のことや、一人で思ったこと……。この企画は、札幌・北海道の各地にお住まいの皆さまに、昨年・2021年に北海道内にてご自分が撮影した「私の _____ 時間」というタイトルを付けて見てもらいたい写真を募集し、あなたの時間の過ごし方・使い方・楽しみ方……を、さまざまな場所、さまざまな時間、そしてさまざまなお一人お一人の視点で写真に撮っていただき、未来に伝えるプロジェクトです。

ありふれた日常の身近な風景が、いつにも増して大切なものとして感じられる「いま」。時代を越えて、時代の姿を伝えることのできる貴重なツールであり、私たちの身近にある文化、それが写真です。

明治政府で北海道開拓の任にあたった開拓使は、その進捗状況を当時の最新技術であった写真で東京に報告すべく、1871年、函館の田本研三をはじめとした写真師(現在の写真家／カメラマン)に記録撮影

を依頼しました。以来1世紀半、写真師・写真家・カメラマンたちが、そして無数の市民たちが撮影・記録してきた膨大な枚数の写真に、現在、学術・文化・芸術などさまざまな形で改めて光が当てられ始めています。その上に、未来の人たちが「あの頃の私たちの街はどんな様子だったか?」と思った時、それを知るための記録を残す役割が現代の私たちにもあるのではないかと考えます。世界が大きく変わってしまった中にもあっても一日一日を懸命に生きようとしている私たちのこの日々の記録は、未来に向けてのささやかな、そして確かな光になるのではないでしょうか。

北海道を拠点とする写真家が中心となって運営しているNPO法人である"THE NORTH FINDER"は、多様な活動を通じて「写真を撮る楽しさ」「写真を発表する楽しさ」「写真を見る楽しさ」を、皆さまとより広く分かち合えればと考えています。身近なメディアであるカメラを通して「身近なところをより深く見つめる」きっかけを作りたい……こうした想いのもとに、2015年から続けている[SapporoPhoto]のプログラムのひとつとして、公募写真展を開催しています。

[SapporoPhoto 2021]は、時代や社会を映し出すメディア・写真を

ツールに、写真と何らかのつながりを持つ皆さまと一緒に「日常の中で写真を楽しむこと」をテーマとし、文化活動の再開・継続と感染拡大の抑止を両立すべく万全の対策を講じ、2年振りに実会場での展示を開催いたしました。この趣旨に賛同してくださった全ての皆さまに心からお礼を申し上げます。

未来は常に近づいてきます。夜が明け、新たな一日がやってきます。

私たち一人ひとりが日々の中で「時間」をより豊かなものにし、そして記録し続けていくことが、未来への希望となることを願っています。

2022年3月

NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク

"THE NORTH FINDER"

- 募集期間 2021年8月10日～11月12日
- 参加者数 66名
- 会場展示 2021年11月26日～28日
札幌文化芸術交流センター SCARTS
(2階 SCARTSモール C)
- ウェブ展示 2021年11月26日～2022年3月31日
<https://sapporophoto.northfinder.jp/>

SapporoPhoto 2021 公募参加型写真展『in:My Time 私の_____時間』作品集／レポートブック

主催／発行

THE NORTH FINDER

NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク

060-0807 札幌市北区北7条西1丁目1-2 SE札幌ビル13階 イメージナビ株式会社内

ウェブサイト：<https://northfinder.jp/> お問い合わせ：info@northfinder.jp

発行人 中村健太

編集人 長谷川規夫

記録写真撮影 長谷川規夫

編集・デザイン ウリュウユウキ (ウリュウ ユウキ 制作室[madokara])

[SapporoPhoto]公式ウェブサイト <https://sapporophoto.northfinder.jp/>

2022年3月発行

本誌掲載の作品写真の著作権は、各撮影者にあります。本誌内容の無断転載をお断りいたします。

本展は、札幌市写真文化振興事業補助金により開催しています。

印刷所 株式会社グラフィック

©2021-2022

THE NORTH FINDERについて

NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク"THE NORTH FINDER" は、写真を通して広く北海道のイメージを高め、より深く北海道を知ってもらおうと、北海道をベースに活動する写真家有志が中心となって設立したNPO法人です。

会員による写真展の開催や、企業との連携を通じた発信のほか、写真教育や写真資産の活用、市民の皆さんにご参加いただくイベントなどの各種事業を通じて、広く写真文化発展へ貢献することを目指して活動しています。

あたたかいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

弊法人に関する詳しい情報は法人公式ウェブサイトでご確認ください。<https://northfinder.jp/>